

まちのわだい

社会教育の振興に貢献

古賀区 平田俊興さん



広川町社会教育委員の会副会長平田俊興さんが、11月1日(金)、福岡県社会教育委員連絡協議会から表彰を受けました。平田さんは社会教育委員として10年以上活躍。中広川小児童の登校時の見守りや紙芝居の作成、地域の老人会や福祉施設の慰問などの活動が評価されました。

町の振興発展に貢献

当条区 野田資幸さん



11月5日(火)、町民交流センター「いこっと」で「第46回広川町表彰式」が行われ、野田資幸さんが表彰を受けました。野田さんは公平委員や衛生班長、区長を歴任。今回の受賞について、「皆さまの助力があったから受賞できた。これからも町の振興発展に協力したい」と語りました。

太原のイチョウをきれいに

広川町商工会工業部会



11月2日(土)、商工会工業部会と観光協会が太原のイチョウ畑周辺を清掃しました。観光協会会員や商工会役員、商工振興委員、青年部、女性部、青年部OB会など計45人が参加。畑や周辺道路のゴミを回収しました。工業部会による地域の清掃活動は今年で2年目。山村部会長は「今後

もこのような活動で地域との交流を深め、活性化・美化に貢献したい」と語り、引き続き活動を続けていくことを示しました。

消防団へ引き渡し

消防ポンプ自動車



11月6日(水)、広川町から広川町消防団へ、第1分団(区域…小椎尾、逆瀬谷、梯、鬼ノ淵、馬場、内田、草場)の新しい消防ポンプ自動車を引き渡されました。更新された消防ポンプ自動車は、平成13年に導入されたもの。車体の老朽化から今回新たな車両が配備され、角田団長は「より一層の訓練、機械器具点検に努めたい」とあいさつしました。

区内の花壇を整備

川瀬区まちづくり委員会



川瀬区まちづくり委員会が10月27日(日)、秋の環境整備として区内の花壇に花の植え付けを行いました。当日は壮年会や老人クラブ、子ども会など計26人が参加。プリムラジュリアンやパンジー、ナデシコ、久留米ツツジなどを植え付けました。

ちびっ子銅メダル獲得

広川イーグルス



9月28日(土)〜29日(日)、八女地区で行われた「第21回八女地区スーパージュニア少年野球選手権大会」で、広川イーグルスが3位入賞を果たしました。4年生以下の部員で一生懸命声を出し、接戦を制して見事銅メダルを獲得しました。●広川球場で練習中。体験お待ちしています(保護者代表 野中 090・1086・6601)

第2工場、新産業団地へ進出

(株)中島田鉄工所



渡邊町長を囲んで左から中島田社長、熊谷取締役、中島田総務部長、野田常務取締役

(株)中島田鉄工所が10月、久留米・広川新産業団地に第2工場を竣工しました。他社の新産団地撤退と、中島田鉄工所の工場増設の時期が合致したことで進出が決まり、10月16日(水)に渡邊町長へ報告しました。

中島田鉄工所(本社・広川中核工業団地)は、携帯電話などの電子機器や飛行機に使用されるネジの製造機械を作る会社。近年は人工衛星向け装置など、宇宙関連事業にも参入しています。

世界のマナーやしきたり学ぶ

グローバルお作法キャンプ



ゲストハウス Origo で11月3日(日)〜4日(祝)、小中学生12人が世界の「お作法」を学びました。火起こしや重たい水の運搬で、ガスや水の大切さを感じたほか、マラウイ出身の講師らと一緒に主食である「シマ」を作って手で食べました。

参加した子どもたちは「(海外の人と交流するときは)自分から積極的に理解しようとするのが大切」と話し、さまざまなことに気づいた様子でした。

中広川地区の文化財を巡る

ふるさとウォーク



11月2日(土)、NPO法人広川町歴史と文化を守る会主催の「第9回ふるさとウォーク」が行われました。参加者は秋晴れの下、善蔵塚古墳や岩戸山古墳、八女丘陵の古墳、扇島区の篠原神社などを訪問。道具の

少ない時代に巨大な古墳を造った人々の苦労の思いをせました。休憩時は生活習慣病や血管について学び、運動や食生活の大切さを確認しました。

新たな町指定文化財

一條八幡宮鳥居



10月7日(月)、一條区の「一條八幡宮鳥居」が町指定文化財第22号に指定されました。享保5年(1720年)2月に建てられた、町内で最古の神前奉納物です。一條区に伝わる「長者伝説」にも関係がある、町の貴重な文化財です。

親子で励ましあいながら

ふれあいナイトハイキング



11月1日(金)〜2日(土)、「第32回親子ふれあいナイトハイキング」が行われ、37家族88人が往復約24キロメートル完歩を目指しました。

参加者は19時30分ごろ中広川小を出発し、23時ごろ高良大社に到着。復路は親子で「あと少し」と励ましあいながら必死に歩を進め、深夜3時ごろ中広川小に帰着しました。

優勝目指して一球入魂

囲碁ボール大会



11月3日(日)、中広川小学校で囲碁ボール大会が行われ、20チーム83人が優勝目指して熱い戦いを繰り広げました。決勝戦ではボールが一球打たれるたびに歓声が上がリ、最後まで目が離せない試合となりました。



優勝した長徳子供会チーム

古のロマン感じる祭典 古墳まつり

11月10日(日)、石人山・弘化谷古墳公園で古墳まつりが行われました。九州国立博物館の「きゅーはく女子考古部」とのコラボイベントは今年で3回目。古墳公園資料館では部員オリジナルの紙芝居が行われ、広川まち子ちゃんが町内の観光名所を冒険する物語に、多くの子どもたちが夢中になりました。古代服ファッションショーは昨年よりパワーアップし、貫頭衣姿の部員が弘化谷古墳をテーマにした歌を披露しました。来場者はそのほか、この日だけ味わえる郷土料理「磐井鍋」や、町指定文化財「智徳熊野神社子供風流」などを楽しみ、町の歴史をさまざまな形で体感しました。



家族で笑顔をゲット! 広川まつり

10月19日(土)〜20日(日)、広川中学校で広川まつりが行われました。19日(土)の前夜祭では、スペシャルゲストとして「ダンディ坂野」が登場。予定より大幅に遅れて開始されたものの、生の「ゲットッ!」を見ようと、ステージの周りに多くの人が集まりました。20日(日)本祭のバルーンパフォーマンスでは、魔女や花束など、さまざまな形に変わっていく風船に子どもから大人まで釘付けに。祭りの最後を飾った「東京ホテイソン」のステージでは、歌舞伎のような独特なつつこみで会場は笑いに包まれ、ステッカーやサインをもらって喜びの姿が見られました。

多種多様な文芸作品を披露 広川町文化祭



10月26日(土)〜27日(日)の「合同展示会」では、美術や書道、華道など多種多様な作品が展示され、来場者は作品に顔を近づけてじっくり鑑賞していました。

10月6日(日)〜11月24日(日)、町民交流センター「いこっと」などで「広川町文化祭」が行われました。お茶会や吟詠大会、俳句会など、町内の皆さんが日ごろの文芸活動の成果を発表するイベントで、今年で63回目を迎えます。

旬の味覚を堪能

秋の収穫祭



10月27日(日)、広川くだもの村で「秋の収穫祭」が行われました。秋の収穫祭は、新そば祭り(逆瀬ゴットン館)と並ぶ「広川町スローフードフェスタ」の一つ。ブドウ温室ハウスの中で、梨カレーや新米などの販売、そば打ち体験など、新鮮な秋の味覚が堪能できるイベントです。当日は弾き語りやダンスなどのステージもあり、来場者はブドウの木漏れ日の下、ゆったりとした時間を過ごしました。